



## 2013年 無料CAD講習会

～スキルアップ・裏技・次世代プレゼンスタイル～

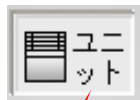
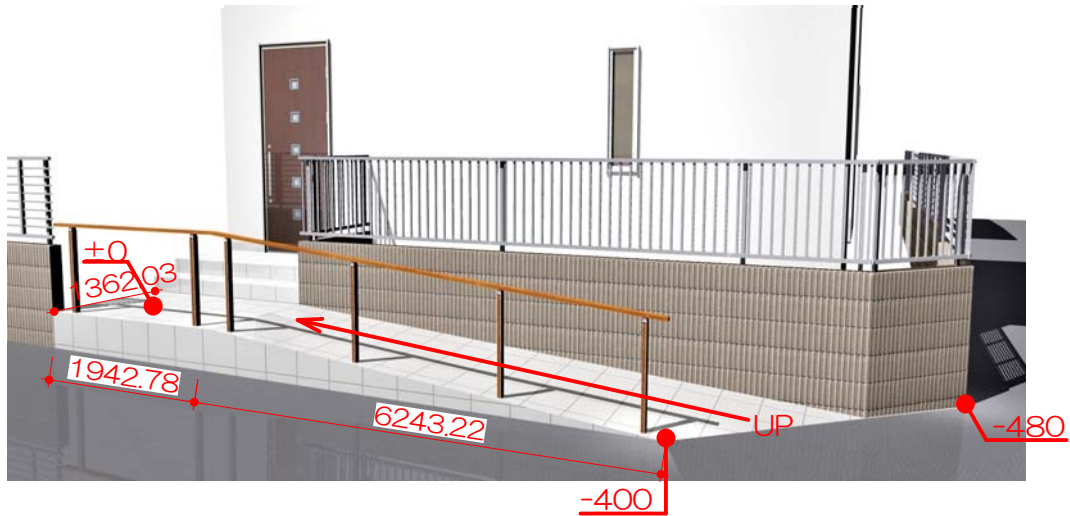




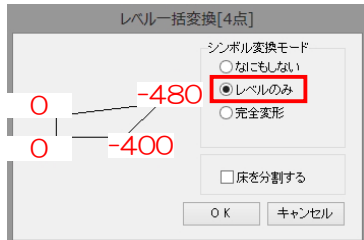
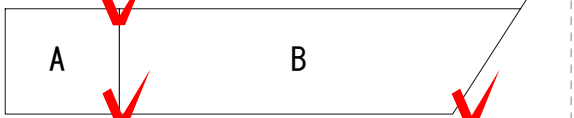
◆ スロープの表現<スキルUP>	
◇ スロープの作成 ~床ユニット	-1-
◇ スロープ(一定勾配かつ長方形)の作成 ~塀ユニット	-2-
-----	
◆ 塀の天端形状・形状変更方法	
◇ 自由塀 形状変更方法	-3-
-----	
◆ ランダムなデザインの取り方 Part1<スキルUP>	
◇ レンガ縁取り(混色)の表現方法 その1	-5-
◇ レンガ縁取り(混色)の表現方法 その2	-6-
-----	
◆ 効率的なデザインの取り方<スキルUP>	
◇ 石貼りの表現方法	-7-
◇ 飛び石風アプローチ表現方法	-9-
-----	
◆ ランダムなデザインの取り方 Part2<スキルUP>	
◇ オリジナルテクスチャ(ランダム配色)の作成方法	-10-
-----	
◆ <sup>イーフォーマー</sup> eE-Former活用講習<スキルUP>	
◇ カーポートの形状編集	-13-
-----	
◆ <sup>イーペインター</sup> eE-Painter活用講習<スキルUP>	
◇ アングルのポイント その1	-14-
◇ アングルのポイント その2	-15-
◇ 太陽の位置	-16-
-----	
◆ スキルUP<裏ワザ>	
◇ ショートカット = 時間短縮の裏技	-17-
◇ 敷地の長さやレベルを選択しにくい時は…	-18-
◇ 微調整 ~レタッチノズルの微調整	
◇ 微調整 ~レタッチノズルの微調整	
◇ 表札の表現① ~テクスチャーの引用	-19-
◇ 表札の表現② ~フォントの引用	

## ◆ スロープの表現<スキルUP>

### ◇ スロープの作成 ～床ユニット



レイヤは「ユニット」



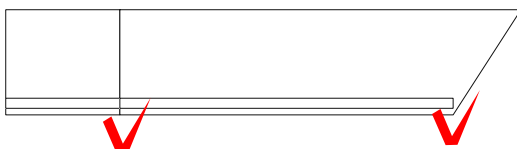
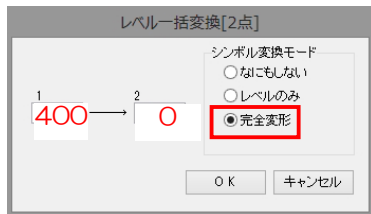
#### 作成手順

- 1) 【B】の床ユニットを選択し、『加工』メニュー  
⇒『レベル一括変換4点』で勾配をとります。
- 2) 【A】と【B】床ユニットをShiftキーで選択し、  
Wクリックします。  
更に起動画面で【A】【B】を同時選択し、  
厚みに「1000」入力し、Enterをします。  
画面を閉じます。
- 3) 『加工』メニュー⇒移動  
Z=-1000  
厚みを付けた分下げます。


### ◇ スロープに手摺を作成 ～eE-Forer



H800\_単体フラット連

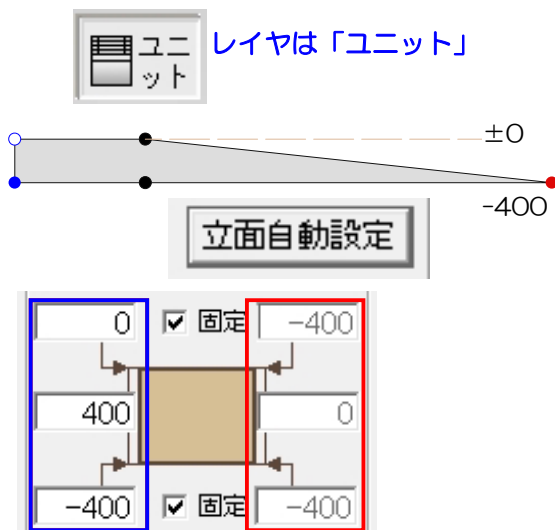


#### 作成手順

- 1) 『単体フラット連』を配置後、Wクリックをし長さを  
変更します。  
 ※『連』と記載ものは長さに合わせて脚が増えます。
- 2) フラットのほうはそのままレベルを入力します。
- 3) 斜めになるほうは、『加工』メニュー⇒  
『レベル一括変換2点』で設定します。
- 4) 『加工』メニュー⇒『eE-Former』を使うと、  
柱位置を均等にできます。  
柱を選んで、『加工』メニュー⇒『整列』  
横均等を選びます。
- 5) 柱位置を変えた場合は、平面も変更しましょう。

◆ スロープの表現<スキルUP>

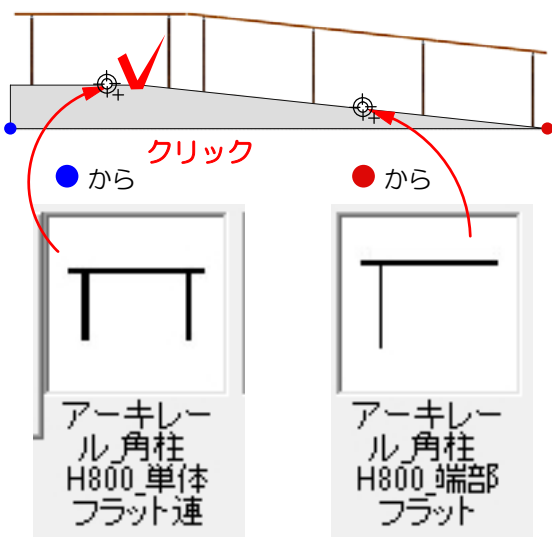
◇ スロープ(一定勾配かつ長方形)の作成 ~塀ユニット



作成手順

- 1) 補助線でスロープを入れるところにライン入れます。フラットになるところにも点を入れます。
- 2) 補助線を選択表示をして塀ユニットを配置します。
- 3) 塀ユニットをWクリックします。  
天端レベルにフラット部分のレベルを入れます。  
『立面自動設定』ボタンをおします。(補助線の点を入れた部分に点が追加されます)  
天端連動のチェックをはずしてから、低いほうのレベルを入力します。

◇ スロープに手摺を作成 ~塀ユニット



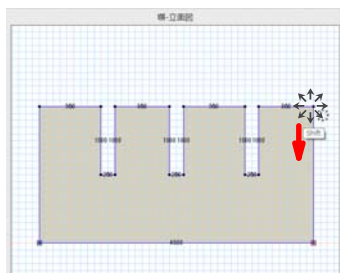
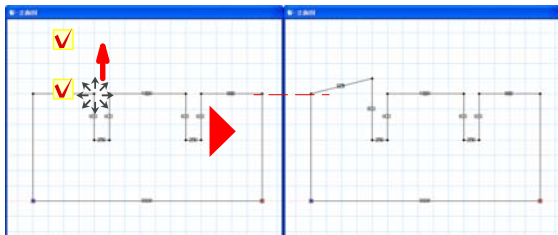
作成手順

- 1) スロープ複製して厚みを変更します。
- 2) 『シンボル』ボタンをおしてフェンスから手摺を選択し、開始位置を指定(● or ●)してから、天端を⊕マークが出たときにクリックします。

## ◆ 塀の天端形状・形状変更方法

### ◇ 自由塀 形状変更方法

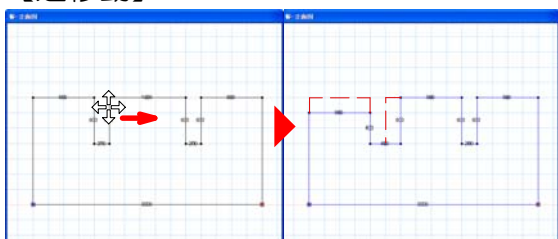
#### 作成手順



頂点（●）にカーソルを合わせて $\star$ で頂点を移動します。

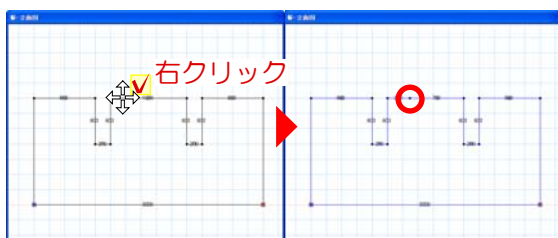
Shiftを押しながら $\star$ 移動させると、すべての天端が一気に移動します。（両サイドの●のみ）

#### 【辺移動】



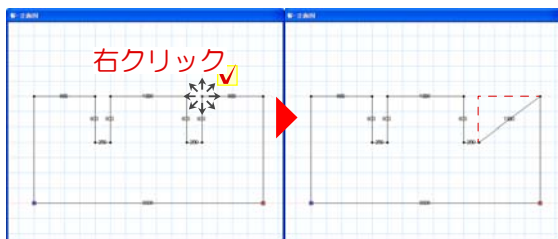
辺にカーソルを合わせて $\oplus$ で移動します。

#### 【頂点追加】



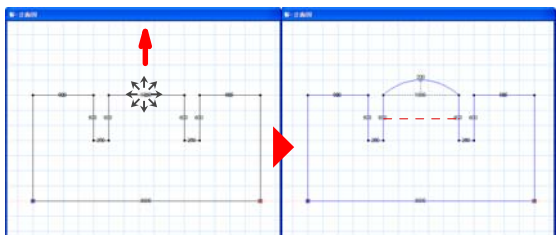
辺にカーソルを合わせて $\oplus$ で右クリックします。  
右クリックすると頂点が追加されます。

#### 【頂点削除】



頂点（●）にカーソルを合わせて $\star$ で右クリックします。  
頂点が削除されます。

#### 【頂点変形】



頂点（○）にカーソルを合わせて $\star$ でドラッグします。  
変が丸く変形します。

# EXTERIOR PLAN

【画像やロゴの取り込み】  
ファイル⇒取り込み⇒画像  
【レタッチ】

【ハウスメーカー図枠】  
ファイル⇒取り込み⇒DXF  
ユニットレイヤから図枠レイヤに  
e-formerを使って移す

【ユーザー登録】  
CB GL+150  
フェンス: ハイグリッドフェンス H800

【目地合わせ】

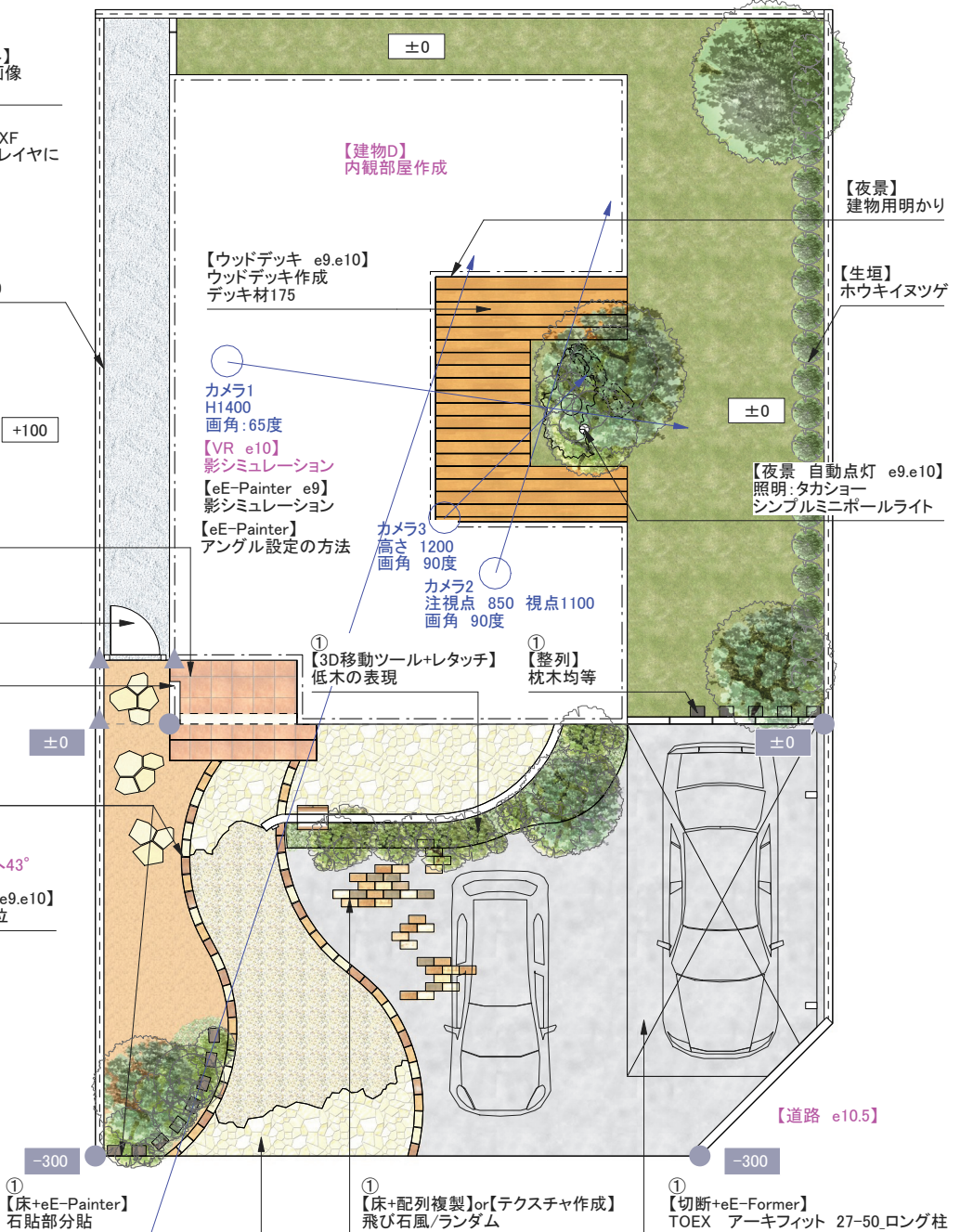
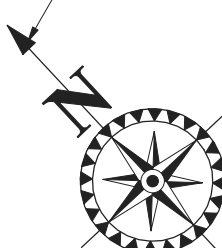
①  
【eE-Former 加工 e8.e9.e10】  
門扉の開閉

【補助⇒基礎+結合】  
建物独立基礎結合

①  
【eE-Former 加工 e8.e9.e10】  
・レンガ3種ランダム配置  
+切断  
・枕木ランダム

【e10】  
回転 角度指定 左へ43°

【影シミュレーション e9.e10】  
敷地基礎レイヤ 方位



【建物D】  
内観部屋作成

【ウッドデッキ e9.e10】  
ウッドデッキ作成  
デッキ材175

カメラ1  
H1400  
画角:65度  
【VR e10】  
影シミュレーション

【eE-Painter e9】  
影シミュレーション  
【eE-Painter】  
アングル設定の方法

カメラ3  
高さ 1200  
画角 90度  
カメラ2  
注視点 850 視点1100  
画角 90度

①【3D移動ツール+レタッチ】  
低木の表現

①【整列】  
枕木均等

【夜景】  
建物用明かり

【生垣】  
ホウキイヌツゲ

【夜景 自動点灯 e9.e10】  
照明:タカショー  
シンプルミニボールライト

【道路 e10.5】

①【床+eE-Painter】  
石貼部分貼

①【床+配列複製】or【テクスチャ作成】  
飛び石風/ランダム

①【切断+eE-Former】  
TOEX アーキフィット 27-50\_ロング柱

①  
【eE-Former 加工 e8.e9.e10】  
・アーチ垂れ壁

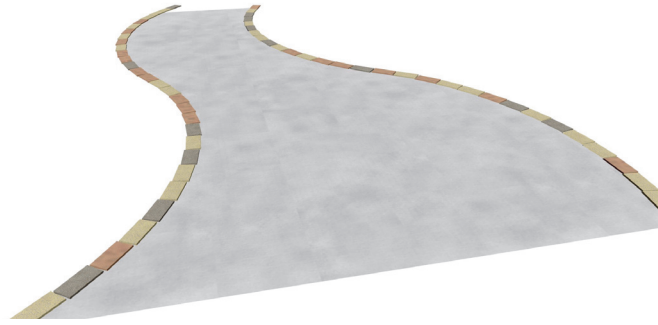
カメラ4  
注視点 1400 視点 3300  
画角 65度

【QR】  
自社HPアドレスやVRなど

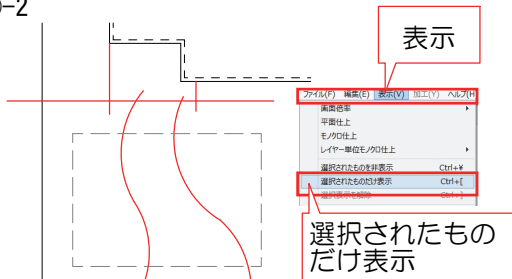


# ◆ ランダムなデザインを取り方 Part1<スキルUP>

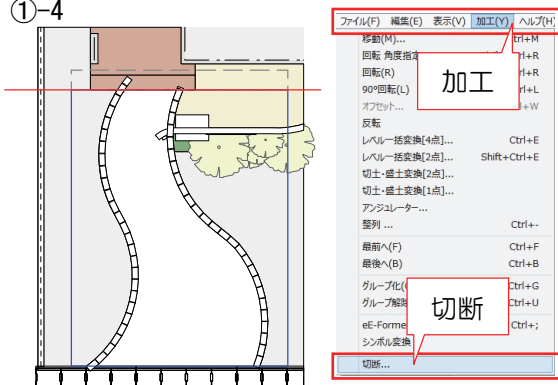
## ◇ レンガ縁取り（混色）の表現方法



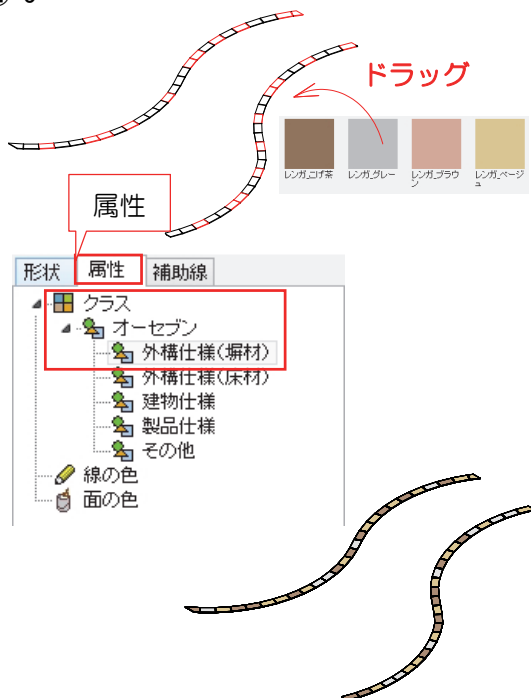
①-2



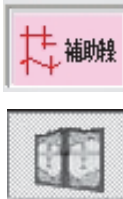
①-4



②-3



### 作成手順



#### ① 補助線でライン作成

- ①-1：並べたいラインを補助製描きます。
- ①-2：並べた補助線を選択して、『ユニット』レイヤで、「表示」メニューの「選択されてもものだけ表示」をクリックします。
- ①-3：Wクリックをし「笠木」でレンガサイズを指定します。  
※レベル±0で作成しましょう。
- ①-4：余分な箇所は切断します。  
レンガと補助線を別々のレイヤで1つずつ選択し、「加工」メニューの「切断」、残したいほうをクリックで選びます。

※グループにすると一度に切断できます。



#### ② eE-Former起動

- ②-1：レンガを選択して、「加工」メニューの「eE-former」をクリックします。
- ②-2：レンガを選択し、「オブジェクト」メニューの「グループ解除」をクリックします。
- ②-3：色を変えたいレンガを「Shift」キーを押しながら、選択します。
- ②-4：「属性」の仕様をドラッグします。

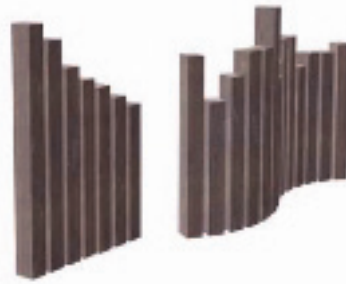
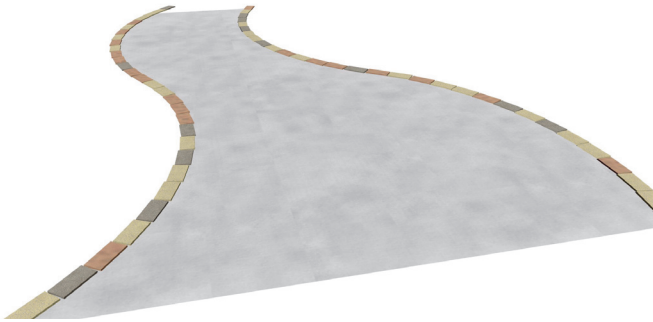
をクリックして線の色を変えておくと識別しやすいです。

- ②-5：完成したら、「eE-former」を「OK」で閉じます。

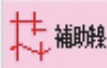


# ◆ ランダムなデザインの取り方 Part1<スキルUP>

## ◇ レンガ縁取り（混色）の表現方法



### 作成手順



#### ① 補助線でライン作成

- ①-1：並べたいラインを補助製描きます。
- ①-2：並べた補助線を選択して、『ユニット』レイヤで、「加工」メニューの「eE-Former」をクリックします。

#### ② eE-Former起動

- ②-1：『上』のレイヤに「柱体」をドラッグして、H=10mmと入力します。



- ②-1：データパレットで  
X（横幅）：200  
Y（縦幅）：100  
Z（高さ）：10

- ②-2：「編集」メニューの「配列複製」で数を増やします。

- ②-3：ドラッグで「属性」を割り当てます



をクリックして線の色を変えておくと識別しやすいです。

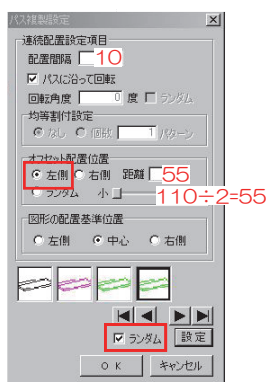
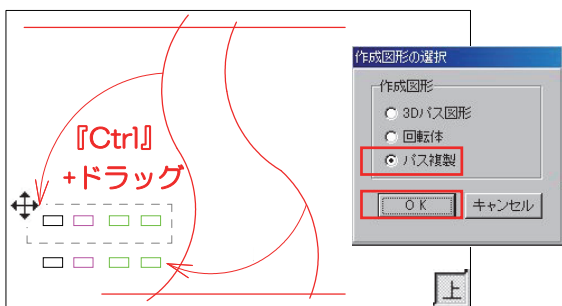
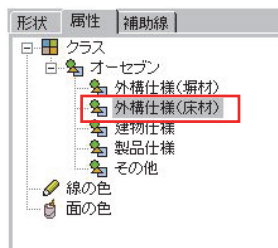
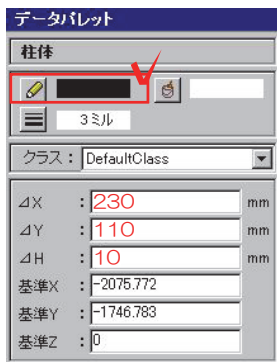
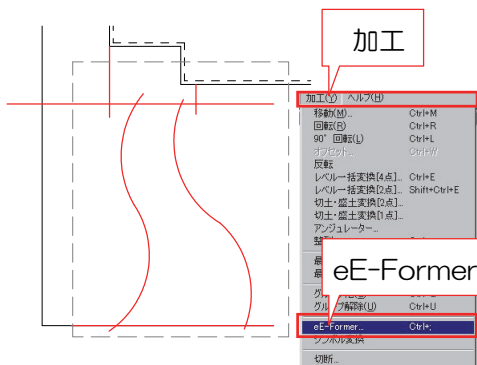
- ②-4：図形をすべて選択して、『Ctrl』キーを押しながら補助線に向かってドラッグします。

- ②-5：起動した画面で、設定を行ってOKをクリックします。（左右行います。）

- ②-6：平面図を作成します。

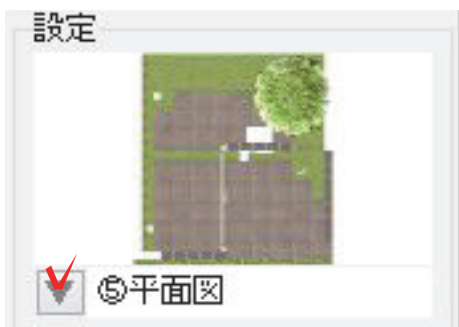
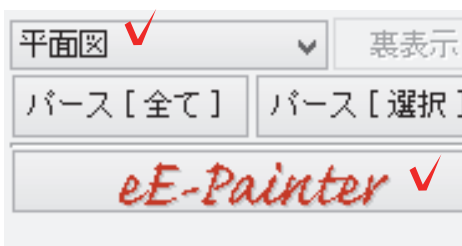
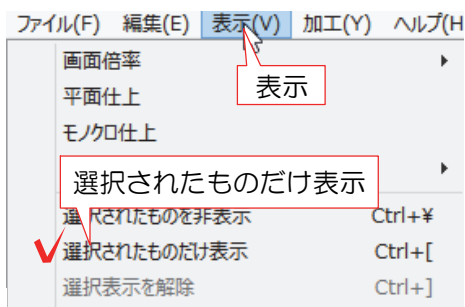
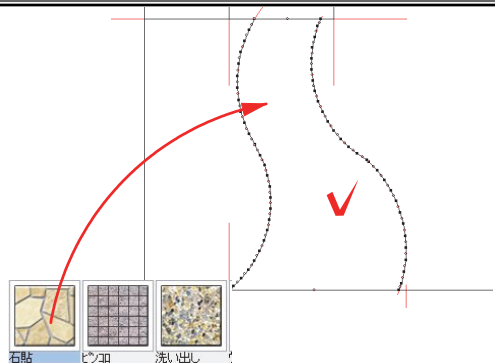
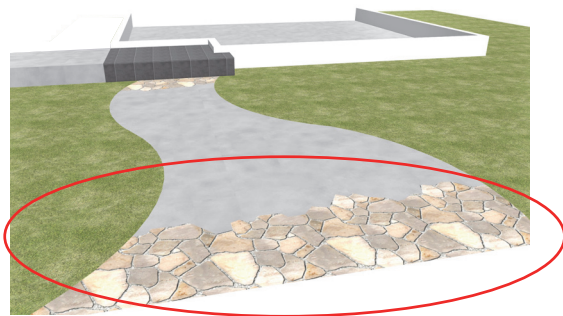
#### ③ eE-Painter起動

- ③-1：テクスチャを貼り付けて、好みの色変更します。



## ◆ 効率的なデザインの取り方<スキルUP>

### ◇ 石貼りの表現方法



#### 作成手順



1) ユニットで床の石貼をドラッグでアプローチの部分に配置します。

2) 配置した床を選択して表示メニューから選択されたものだけ表示を選択します。

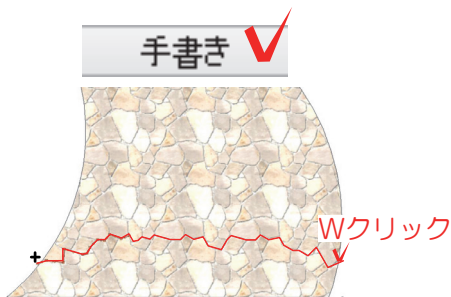
3) カメラを平面図にしてeE-Painterを選択します。

4) 右上の効果設定を選択して、  
⑤平面図に切り替えます。

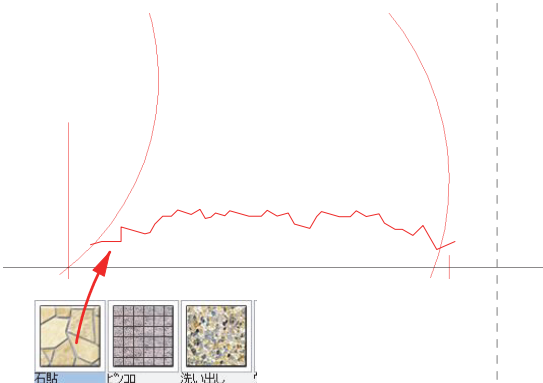
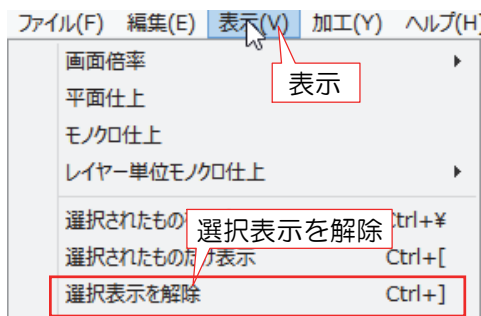
5) 再描画を選択します。



図面上へ配置 ✓



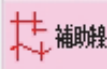
手書き ✓



## 作成手順

6) 使用する石貼りのテクスチャを下からドラッグで配置します。

7) 図面上へ配置を選択します。



8) 補助線のレイヤに切り替えます。

9) 手書き補助線を選択して石貼りの画像に合わせて補助線を描きます。  
※補助線を終了するときはWクリックで終了してください



10) 次にユニットのレイヤに切り替えます。

11) 表示から選択表示を解除して全体の図形を表示します。

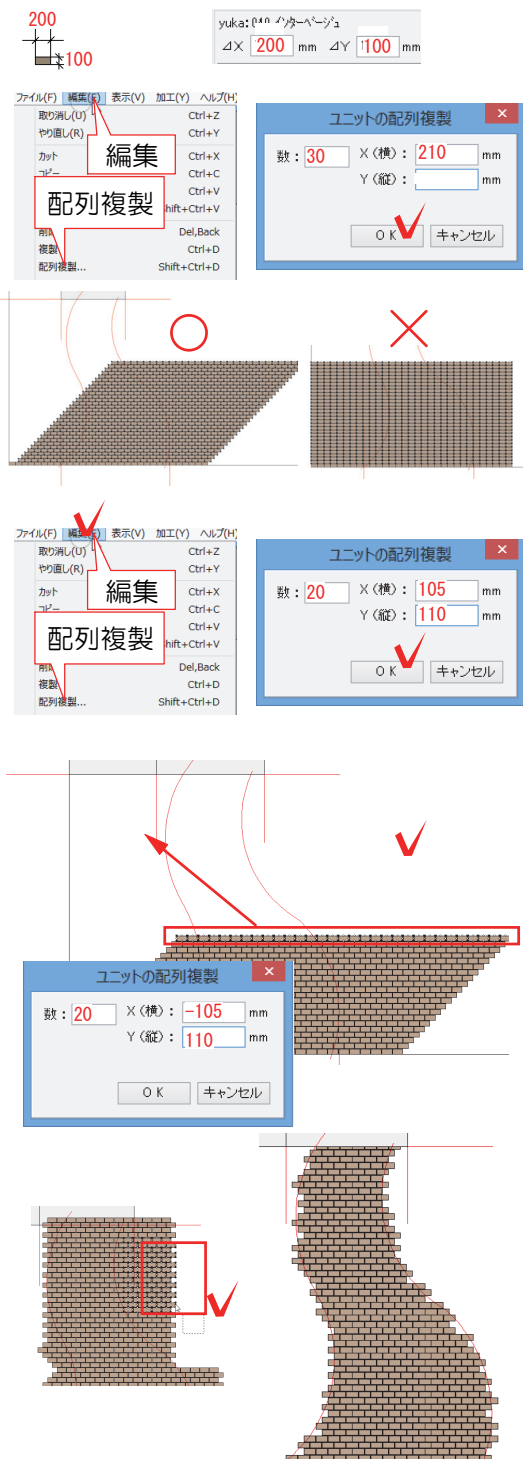
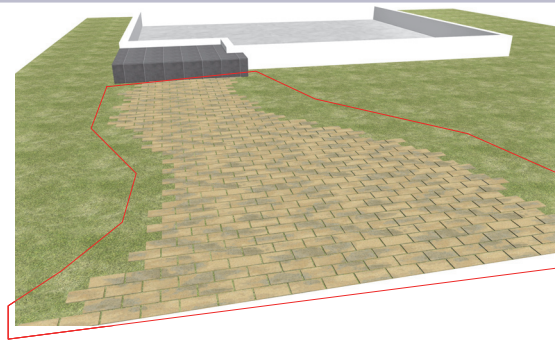
12) 先程の石貼りの床は選択して Backspace/Deleteで削除します。

13) 補助線で囲った範囲に再度床の石貼りをドラッグで配置します。  
※この時先程と同じ床を使用しないと色が変わってしまいます。

14) 画像レイヤの石貼りの平面画像を Backspace/Deleteで削除して完成です。

## ◆ 効率的なデザインの取り方<スキルUP>

### ◇ 飛び石風アプローチ表現方法



### 作成手順

1) 床を下から配置して、右上のXとYの入力欄にレンガのサイズを入力します。

2) サイズを整えた床を敷地の左角に合わせて配置します  
※アプローチラインからはみ出したところは後から消せるのでOK!

3) 編集メニューから配列複製を選択し、数とXとYを入力してOKを選択します。  
※今回はレンガサイズが200\*100なので、目地幅を10として横にX=210で配列します。  
数は少し多めに入力してOKを選択します。

4) 3で配置した床を選択して上に配列します。  
そのまま上に配列すると目地がそろった状態で配置されるため、横にレンガの半分のサイズを入力して配列します。  
※今回はレンガサイズが200\*100なので、目地幅を10として横にX=105\*Y=110で配列します。  
数は少し多めに入力してOKを選択します。

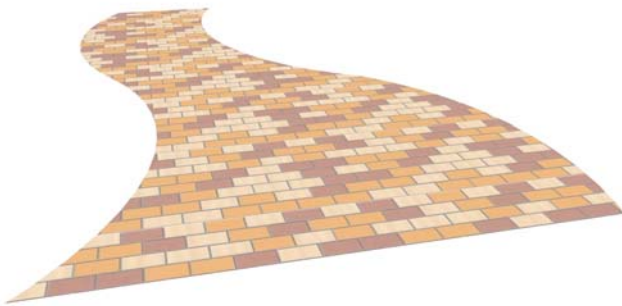
5) 一度選択解除してから、一番上の列だけドラッグで選択します。  
曲線の場合は左側にも配列しましょう。  
※選択解除は何もないところをクリックして解除してください。

6) 曲線にそってレンガが配置できたら、不要部分を選択してBackspaceで消します。

右側の絵のようにイメージに合わせてレンガを消して完成です。

## ◆ ランダムなデザインの取り方 Part2<スキルUP>

### ◇ オリジナルテクスチャ（ランダム配色）の作成方法



## パターンテクスチャ作成

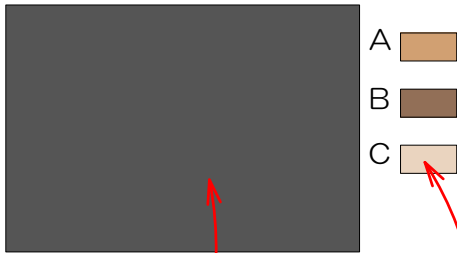
表現したい床のデザインは、パターンが繰り返すことで模様として表現できます



レイヤは「ユニット」

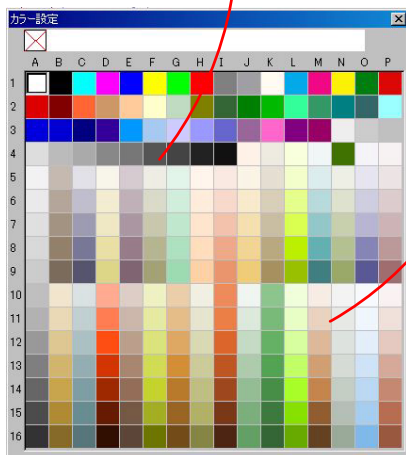


目地



ドラッグ

ドラッグ



### 作成手順

#### ① パターンの作成

繰り返し続くパターンに仕上がるように作成します。

①-1：目地用の床ユニットを配置し。  
（※目地のいらない素材の場合は不要。）

①-2：選択状態のとき、画面右のX・Yの数値がパターンの横寸・縦寸になるよに変更します。



レンガの場合

X（横寸）：（横寸+10）×枚数

Y（縦寸）：（横寸+10）×段数（偶数）  
になります。

例）（230+10）×6枚

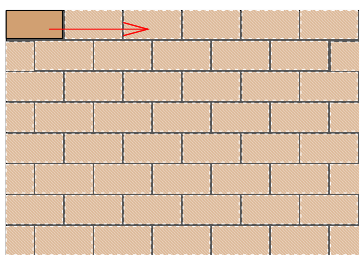
（110+10）×8段

ΔX 1440 mm ΔY 960 mm

①-3：パターン床ユニットを配置します。  
仕様が異なる床を選びましょう。

①-4：横寸・縦寸・厚み5mmになるよに変更  
します。

①-5：「表示」メニューの「平面カラーパ  
レット」で色をそれぞれ変更します。  
認識しやすくなります。



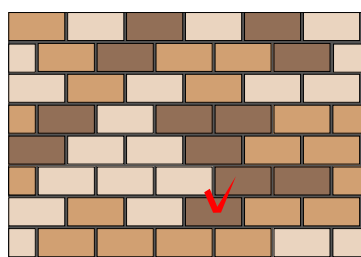
例) 230+10mm=240

右クリック

属性コピー(C)

属性ペースト(P)

カット(C)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
ペースト(P)	Ctrl+V
ペースト(同位置)(Y)	Shift+Ctrl+V
削除	Del,Back
最前へ(E)	Ctrl+F
最後へ(B)	Ctrl+B



右クリック

属性コピー(C)

属性ペースト(P)

カット(C)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
ペースト(P)	Ctrl+V
ペースト(同位置)(Y)	Shift+Ctrl+V
削除	Del,Back
最前へ(E)	Ctrl+F
最後へ(B)	Ctrl+B

①-6：パターンになるよう並べます。

①-7：「編集」メニューの「配列複製」を使って並べます。  
レンガのように目地を含む場合は「A」を目地10mmあくよう配列します。

①-8：並べたものに、「B」と「C」の属性を右クリックの「属性コピー」と「属性ペースト」で移します。

パターンが繰り返したとき色がつながるように、半端の部分の色は注意してください。

○

✕ (奇数段)

間違い



「eE-Painter」で作業します。

平面図

裏表示

パース[全て]

パース[選択]

eE-Painter ✓

設定

◎平面・立面影あり

再描画 ✓

## ② eE-Painter起動

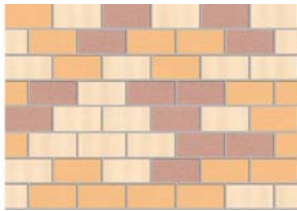
eE-Painterを起動します。

②-1：「平面図」用カメラにして、画面右のeE-Painterを起動します。

eE-Painterが起動します。

②-2： をクリックし、効果設定を「平面影あり」に切り替えます。

②-3：画面右中央の「再描画」をクリックします。



### ③ テクスチャを貼る

貼りたいテクスチャを選択します。

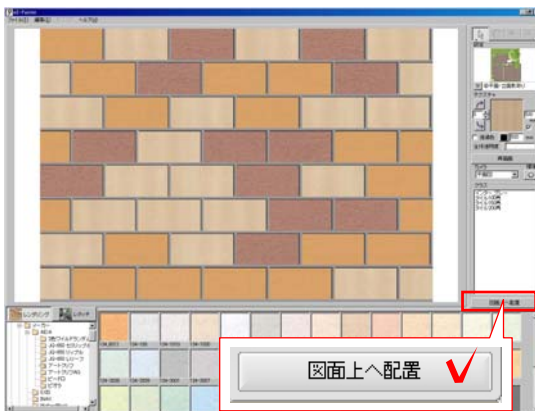
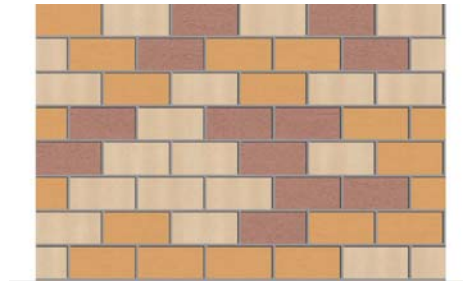
③-1：目地なしのテクスチャをドラッグで貼りあてます。

💡【色の彩度や陰影を調整したい・・・】



『全体の明るさ』を変更すると…  
彩度を調整できます。

『影』『太陽の位置』を変更すると…  
陰影を調整できます。



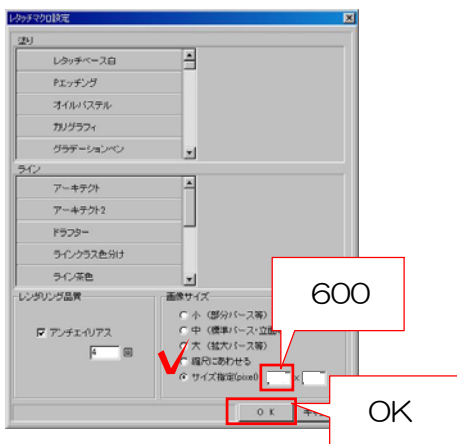
### ④ 図面上へ配置

eE-CAD上にパースを配置します。

④-1：画面右の「図面上へ配置」をクリックします。

④-2：「サイズ指定」をクリックします。  
「数値：600」と入力し「OK」をクリックします。

eE-CAD上にパースが表示されます。



◇ カーポートの形状編集

・ eE-Former応用

【テラスを斜めに切断加工する】

テラスやカーポートの切断加工の方法の一例です。

- ① 平面で切断したいラインに補助線を引く
- ② テラスと補助線を選択して、加工メニュー→切断を選択。
- ③ 残したい方の図形（青い枠線が表示されます）をクリック。  
切断完了。切断した部分に板を貼りたい場合は④へ。
- ④ 切断した図形を選択して、加工→eE-Formerを選択。
- ⑤ 横から見てテラス屋根の傾斜に合わせて多角形を描き、3Dメニュー→柱体を選択。  
高さ3000と入力。
- ⑥ 上から見て、板を貼りたい部分に柱体が重なっていることを確認し、不要部分の形を多角形で描く。⑤同様に柱体にする。
- ⑦ 前または横から見て、⑤と⑥の図形が交わっているのを確認。交わっていなければサイズを変更する。
- ⑧ ⑤⑥の図形を選択し、加工メニュー→「切り欠き」を選択。
- ⑨ ⑥の図形を選択して削除。→⑤の図形が削られています。
- ⑩ 同様に不要部分を削って、画面右下の「OK」で完了



切断する位置や、テラスカーポートの形状によっては、上記の方法と異なる加工手順もございます。  
webマニュアルをご参照ください。

検索カテゴリー：『2013年無料』 『YouTube』 『動画』



◇ アングルのポイント その1

・ eE-Painter基礎

【カメラの設定ポイント】

作成する内容によってカメラの設定は変わります。用途に合わせた設定をしましょう。

全体パース：矢印の先は基礎の中心あたり。建物がある場合は、視点と注視点の高さが同じになるようにします。

建物がなく、外構プランのみ作成の場合は、少し高い位置から見下ろした視点がお勧めです。あまり上からのぞき込まず、全体を下に下げることで見えるように配置します。



全体パース建物なし  
床が見えるように少し上から



◆ <sup>イーペインター</sup>eE-Painter活用講習<スキルUP>

◇ アングルのポイント その2

・ eE-Painter基礎

【カメラの設定ポイント】

作成する内容によってカメラの設定は変わります。用途に合わせた設定をしましょう。

VR：ほぼ部分パースと同じような設定にします。太陽の位置を「手動」にすると一定の方向から影が落ちる様子になります。

部分パース：矢印の先はメインにしたい図形のあたりに配置します。距離が近い範囲を撮りたい場合は、画角を75～90程度に設定します。高さは低めに設定します。



◇ 太陽の位置

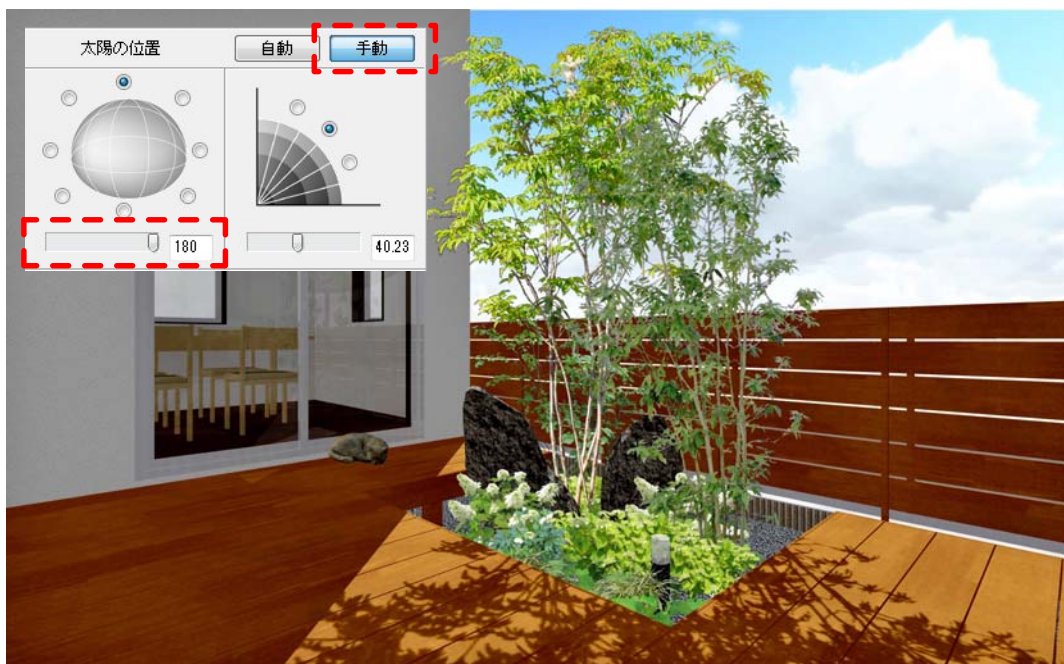
・ eE-Painter応用

【太陽の位置と印象の変化】

同じアングルでも影のつき方で印象が変わります。

太陽位置を「手動」設定することで、太陽を好みの位置に配置することができます。

方位を正確に反映したパースを撮りたい場合は、敷地注釈レイヤで方位を配置します。(e9以降)



【影シミュレーション】

eE-CAD9以降のバージョンでは敷地基礎レイヤの方位を配置すると、影のシミュレーションが行えます。eE-CAD10からはVRにも搭載されました。

## ◆ スキルUP＜裏ワザ＞

### ◇ ショートカット = 時間短縮の裏技

#### ① マウスホイールを使う

- ホイールを転がす → 画面の拡大・縮小
- ホイールを押したまま動かす → 画面の自由移動
- Shiftキー + ホイール → 画面の左右移動
- Ctrlキー + ホイール → 画面の上下移動

※動かない場合は、作業画面を1回クリックしてから作業しましょう。

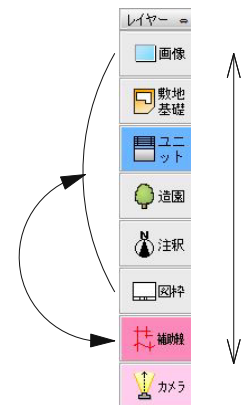
マウスホイール



歯車で設定変更可

#### ② レイヤ移動：Ctrlキーを使って

- Ctrl + ↑↓(テンキー上下矢印) → レイヤ移動
- Ctrl + 作業画面をクリック → 補助線レイヤの切り替え



#### ③ 敷地基礎のショートカット：新機能追加

- Ctrl + PageDown/PageUp → 敷地の表示数値が変わります。
- 敷地の寸法が短く、数値が混み合っていて見えにくい時に使用します。
- ※注釈レイヤの敷地注釈のサイズは変わりません。

#### ④ ユニットのショートカット：ユーザー登録とレベルの設定

- よく使う塀のセットを作成し、ユーザー登録。
- EX：CB 2段+TOEX ハイグリッドフェンスUF8型 H800
- 床の「レベル一定」を使用する
- 敷地レベルや周囲の図形レベルに関わらず、一定のレベルで配置できます。

#### ⑤ 造園のショートカット：お気に入り登録

- よく使う植栽をお気に入りに登録 → 検索の必要がなくなります。

#### ⑥ 注釈・図枠・画像のショートカット：ユーザー登録と画像サイズの変更

- ユーザー登録：定型文などをユーザー登録するといつでも使用できます。  
縮尺の変更に適用します。  
eECAD10では、サムネイル作成ができます。

画像サイズの変更：前回と同じサイズの画像にしたい時はサイズ指定が便利

◆ スキルUP <裏ワザ>

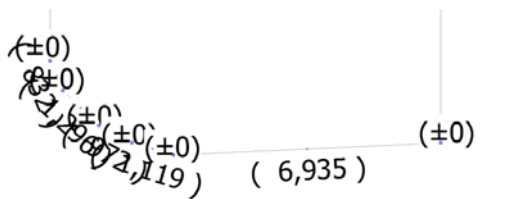
◇ 敷地の長さやレベルを選択しにくい時は

敷地や基礎の長さやレベルの指定がしにくい、重なってしまって見えない時に文字の表示サイズを変えることができます。

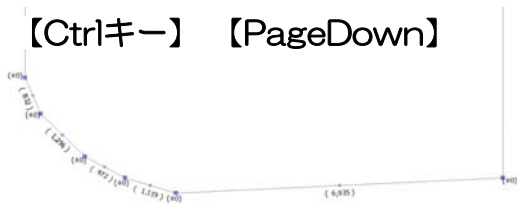
各eE-CADバージョン下記以上でお使いいただけます。アップデートツールで更新ができます。

eE-CAD8 8.71 / eE-CAD9 9.71 / eE-CAD10 10.0.1

【Ctrlキー】 【PageUp】



【Ctrlキー】 【PageDown】

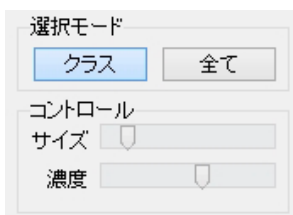


作成手順

- 1) 敷地の辺の長さが短い場合、各レベルや辺の長さが重なってしまい、なかなか選択できない場合があります。そのような時は【Ctrlキー】【PageUp】で大きく、【Ctrlキー】【PageDown】で小さく、文字の表示サイズを変えることができます。

※変化するのは敷地・基礎の表示サイズのみです。注釈やユニットには影響しません。  
※大きな敷地の場合は表示サイズを大きくすると、見やすくなります。  
※【PageUp】【PageDown】ボタンはキーボード右上周辺にあります。機種によって表示や位置が異なります。

◇ 微調整 ～レタッチノズルの微調整



少しずつ移動



Shiftキー

+

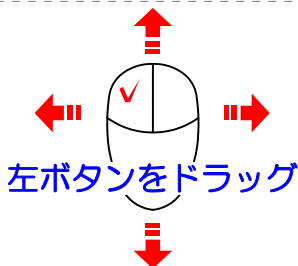


左(右)ボタン

◇ 微調整 ～レタッチノズルの微調整



eE-Painter画面で「3D移動ツール」を選択し、図形をダブルクリックして編集します。

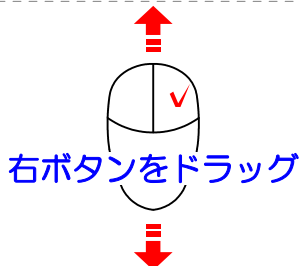


左ボタンをドラッグ



🔦 少しずつ移動

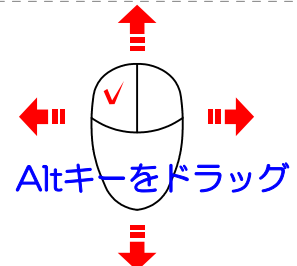
Shiftキー+左(右)ボタン



右ボタンをドラッグ



Shiftキー+上(下)ボタン



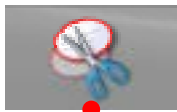
Altキーをドラッグ



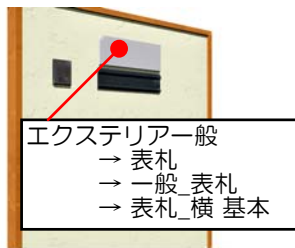
Shiftキー  
+ Altキー + 上(下)ボタン

## ◆ スキルUP <裏ワザ>

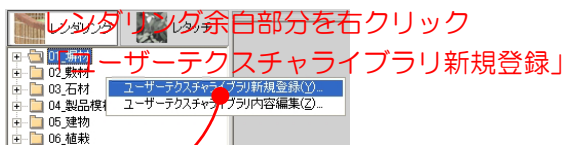
### ◇ 表札の表現① ～テクスチャーの引用



Windowsアクセサリ  
→ Snipping Tool  
(Windows7-8)標準搭載



エクステリア一般  
→ 表札  
→ 一般\_表札  
→ 表札\_横\_基本



レンダリング余白部分を右クリック  
『ユーザーテキストライブラリ新規登録』



画像プレビュー画面

テクスチャ登録設定画面

#### 作成手順

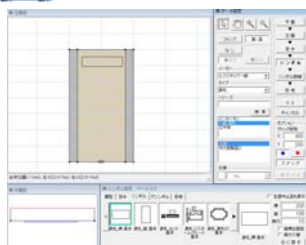
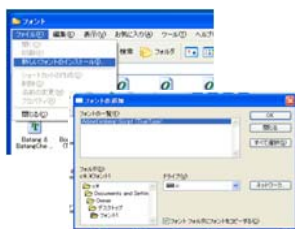
- 1) Web上の表札シミュレーターで表札を作成
- 2) フリーのキャプチャーソフト（例：Caphey）で画像をトリミングしデスクトップに保存します。
- 3) 表札の同じサイズの図形を塀の中に配置します。  
(エクステリア一般 → 表札)
- 4) **eE-Painter** を起動。
- 5) フォルダの余白部分を右クリック  
⇒ 『ユーザーテキストライブラリ新規作成』  
⇒ 画像を選択  
⇒ 設定を行う。  
名称：表札商品名：邸名  
サイズ：X・Yともに『0』  
⇒ 保存
- 6) ユーザー登録からテクスチャを選んでドラッグで貼り付ける



#### 【注意点】

- 登録した画像は、作業しているPCにのみ保存されています。他のPCで使用する場合、登録画像も移しましょう。
- ※ アンインストール時破棄しないように注意
- サイズ『0』で登録すると、貼り付ける図形いっぱいいっぱいに画像が貼られます。

### ◇ 表札の表現② ～フォントの引用



右クリック

#### 作成手順

1. インターネットより筆記体のフォントをダウンロードします。  
(フォントのダウンロード・インストールはユーザー様の任意にてお願いいたします。)
2. ダウンロードしたデータをインストールします。  
(①スタートメニュー>②コントロールパネル>③フォントの中に入れる。>④ファイルメニュー>⑤新しいフォントをインストール>⑥フォントの追加(XP))  
※ Windows Vistaと7はフォントフォルダにコピーするだけでインストールされます。
3. 文字入力したい部分に四角い表札図形を入れる
4. eE-Painter上で右クリック>文字入力選択
5. 文字入力  
(サイズは手動で数値入力可。左のプレビューを見ながら調節します)
6. 筆記体フォントを選択  
(Exmouth/Vijaya/MV Boli・・・など)
6. OK後、再描画
7. 仮表札を消す

#### フォントダウンロード

参考サイト：<http://www.dafont.com/>

イーフォーマー  
eE-Former

- ◇ 製品加工ができる
- ◇ オリジナル製品作成
- ◇ 各デザイナーツールで作成できない部分を補う
  - ◇ 塀 断面図編集
- ◇ 線画 立面図や姿図の編集
  - ◇ 石積みの作成
- ◇ 取り込んだDXFの編集





◆ <sup>イーフォーマー</sup>eE-Former活用講習<スキルUP>

◇ <sup>イーフォーマー</sup>eE-Formerの起動の仕方



から起動

⇒ <sup>イーフォーマー</sup>eE-Formerでは3Dと2Dの編集を行います

【方法①】シンボルを選択して起動

製品の加工 [Web](#)



【方法②】何も選択しないで起動

オリジナル製品作成 [Web](#)



【方法③】シンボル化したものを選択して起動

各デザイナーツールで作成できない部分を補う [Web](#)

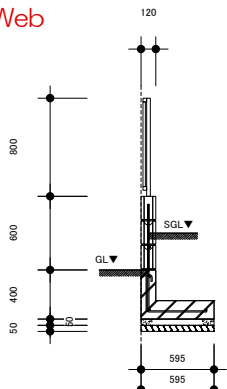


パターン①  敷地基礎 『加エメニュー』 ⇒ 『シンボル変換』

パターン② 『ファイルメニュー』 ⇒ 『取り出す』 ⇒ 『DXF』  
『ファイルメニュー』 ⇒ 『取り込む』 ⇒ 『DXF』

【方法④】塀ユニットを選択して起動

塀断面図編集 [Web](#)



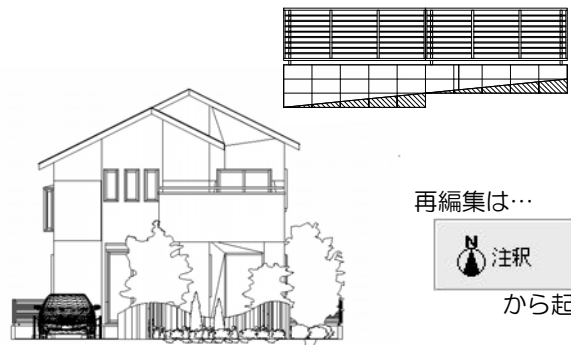
再編集は…



から起動

【方法⑤】陰面処理した画像を選択して起動

線画立面図編集 [Web](#)



再編集は…



から起動

## ◆ eE-Former活用講習<スキルUP>

### ◇ eE-Formerの起動の仕方



から起動

⇒ eE-Formerでは3Dと2Dの編集を行います

#### 【方法⑥】 並べた石を選択して起動

石積みの作成 [Web](#)

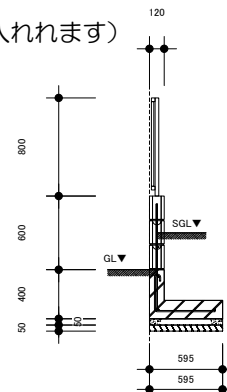
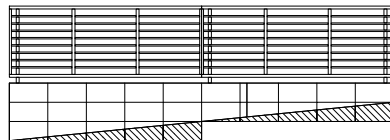


から起動

⇒ eE-Formerでは2Dと注釈の編集を行います

#### 【方法⑦】 平面処理

ポストなどの平面表記、その他平面処理や断面図などの再編集（ハッチングなどが入れれます）

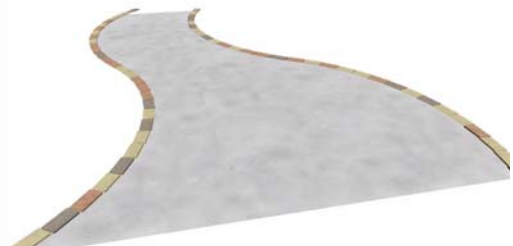
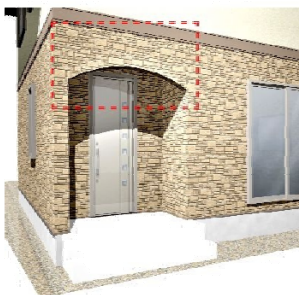


から起動

⇒ eE-Formerでは3Dと2Dの編集を行います

#### 【方法⑧】 補助線を選択して起動

補助線でかたどったラインに図形を作成できます。ランダムなデザインなどに… [Web](#)

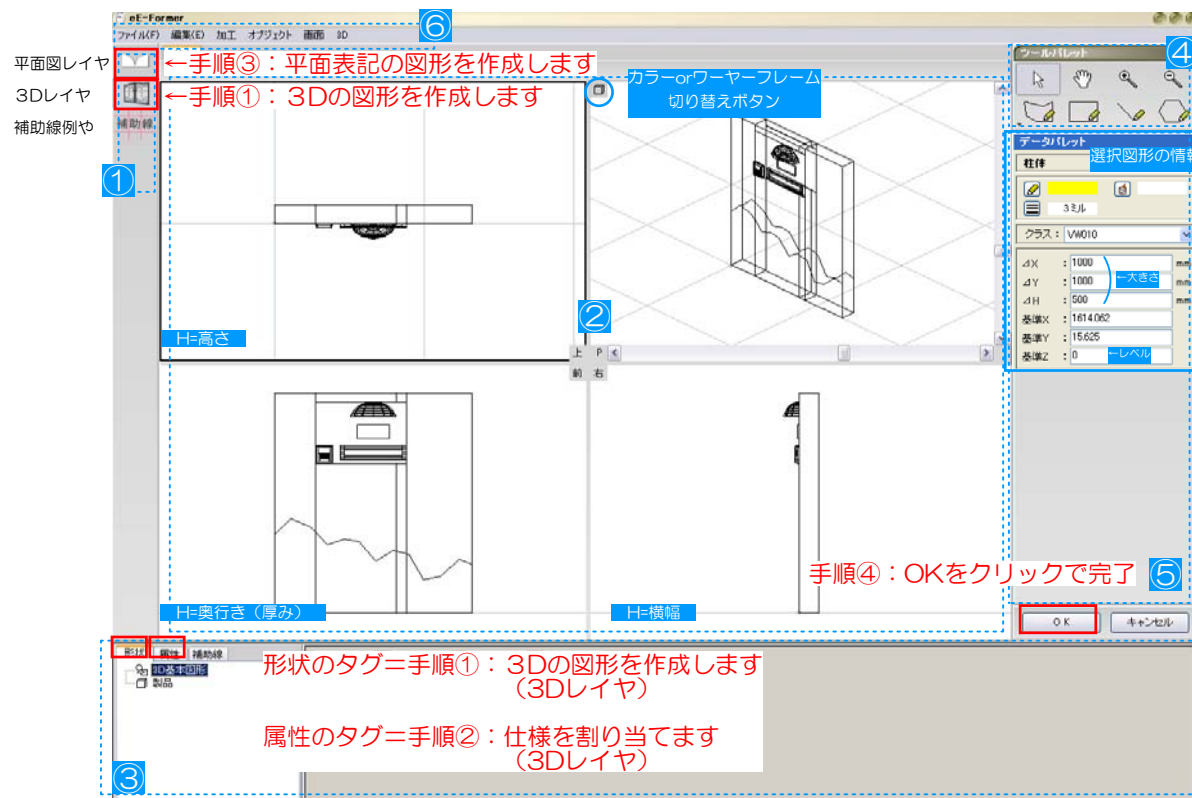


イーフォーマー  
◆ eE-Former活用講習<スキルUP>

イーフォーマー  
◇ eE-Formerの画面説明

表現多様なe-former

- 組み合わせたとき、位置関係が把握しやすい
- 生活シーンの演出に…
- 細かなこだわりも表現して、デザイン力をアピール



- ① レイヤーボタン  
上：2D編集 中：3D編集 下：補助線
- ② 作業画面  
編集作業を行う画面です。  
真上・正面・横の3方向プラス斜め上からスクロールした視点からの図形選択・編集が可能です。
- ③ スタンプパレット  
図形の配置・製品シンボルの配置・補助線配置・属性(クラス)選択ができます。
- ④ ツールパレット  
図形の選択・画面の拡大縮小・図形描画ツールなど
- ⑤ データパレット  
選択図形の情報(サイズ・座標・レベル)
- ⑥ メニューバー  
作業コマンドのメニューを表示

作成手順



①：3Dの図形を作成します。

②：仕様を割り当てます。



③：平面表記の図形を作成します。

④：OKをクリックで完了

イーフォーマー  
◆ eE-Former活用講習<スキルUP>

イーフォーマー  
◇ eE-Formerをのポイントをつかもう。

図1)

図2)

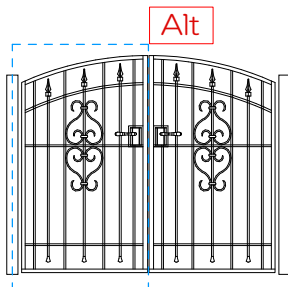
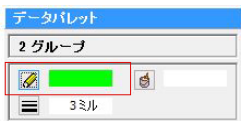
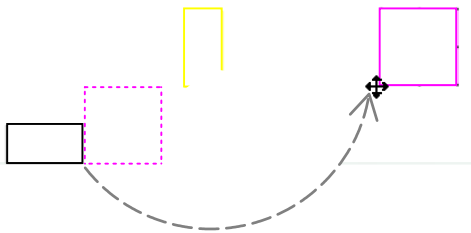
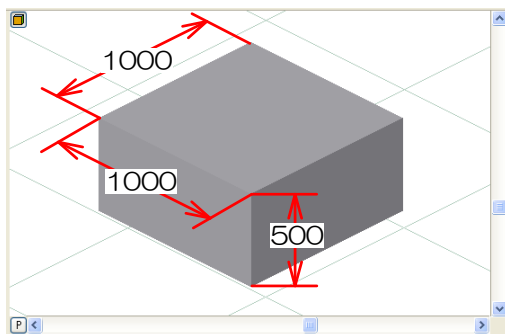


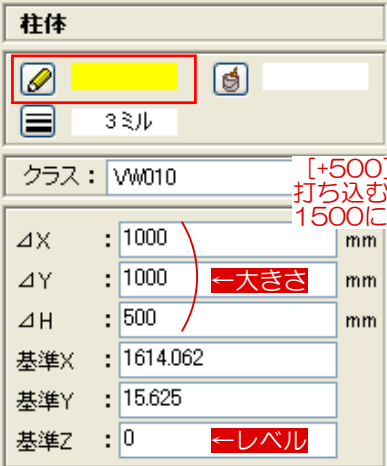
図4)



中央Wクリック  
⇒4画面に戻ります



データパレット



[+500] と  
打ち込むと  
1500になります。

Point

- 1) 選択は線をクリック  
(P画面以外では、面は選択できません)
- 2) 図形の合わせ方  
⇒何も選択していない状態で、図形の頂点をつかんで頂点(交点)にくっつける。



【選択がうまくできない】

- 『Altキー』を押しながら図形を囲うと、囲いきったところだけを選択できます。
- 線の色を変える。データパレットで確認できます。
- Pの角度でワイヤフレームの時、選択図形が赤く表示されます。

- 3) グループごとにまとめられているので、グループごとに作業できます。
- 4) テンキーで角度が切り替えできます。
- 5) 2方向から位置を合わせます。
- 6) データパレットで図形の情報が確認・編集できます。数値計算も可能です。
- 7) 新しく配置した3D図形は仕様を割り当てれます。

- 8) 必ず平面図表記を作成します。  
(※位置や大きさを変更した際、平面は3Dと連動していないので注意!!)
- 『画面メニュー』⇒『3D図形を表示』 にしておくこと3Dと平面のズレを把握しやすいです
- 『2Dメニュー』⇒『3D図形から2Dを作成する』⇒『3D外形』



【2D編集をする時の注意】

3D図形がグループになっているとうまく作成できません。3Dの画面でグループを解除してから作成してください。編集のグループ解除で1つずつ選択できる状態にします

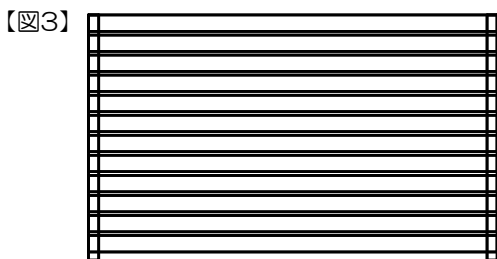
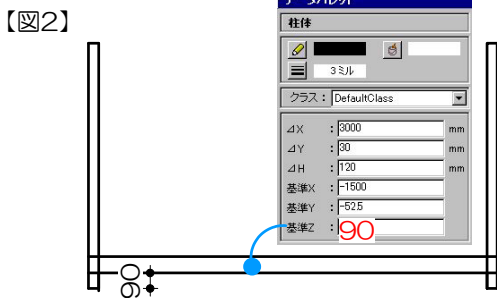
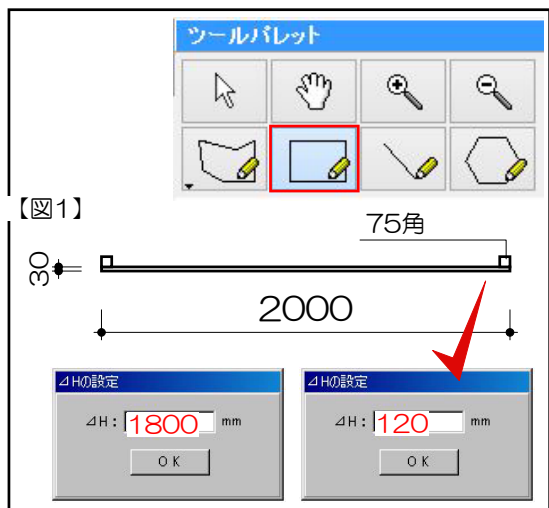
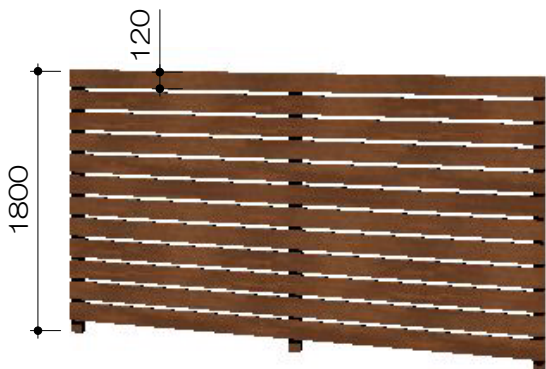
グループのまま作成すると・・・



◆ eE-Former活用講習<スキルUP>

◇ eE-Formerを使って作成してみよう。

オリジナル横桟木フェンス



作成手順



1) 加工 → eE-Former起動  
上のアングルに補助線が取り込まれます。



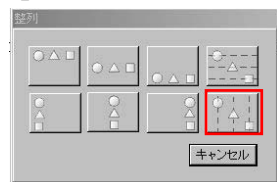
2) 四角形ツールで四角を描く。2つ描く

3) データパレットで  $\Delta X=2000$  /  $\Delta Y=30$  と入力して『Enter』  
もう一つの四角形は、 $\Delta X=75$  /  $\Delta Y=75$  と入力して『Enter』

4) 『3Dメニュー』⇒『柱体』  
板：H=120・柱：H=1800  
とHをそれぞれ入力します。

5) 柱を「編集→複製」して  
横へShiftキーを押しながらずらします。

6) 柱を全て選択して、「加工→整列」  
柱が均等に並びます。

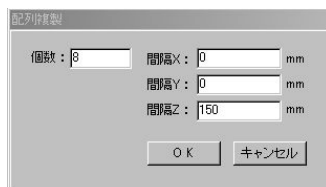


7) アングルを前からに変更します。

8) 板の Z値を90にします。  
地面から90レベルが上がります。【図2】

9) 板を複製して、柱の天端とそろえます。

10) 「編集→配列複製」  
個数=10  
間隔X=-150



11) 板を全て選択します。  
「加工→整列」  
板が均等に並びます。【図3】



12) 立体を選択して、属性「ウッド2」を  
ドラッグします。



13) 平面図を作成します。  
方法①：3Dを全て選択して、「編集→コピー」  
平面図レイヤに「編集→同位置ペースト」  
データパレットのバケツボタンを押して  
色変更します。  
方法②：平面図レイヤで、「画面→3D図形を表示」  
にチェックをつけます。  
四角形ツールで立体をなぞる。【図4】  
方法③『2Dメニュー』⇒『3D図形から2Dを作成する』  
⇒『3D外形』

※方法①で複雑な図形の場合は方法②で作成します。

※複雑ですと、データ量が重くなります。

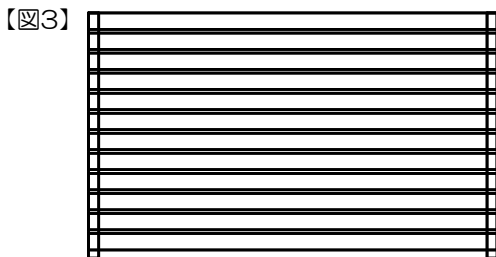
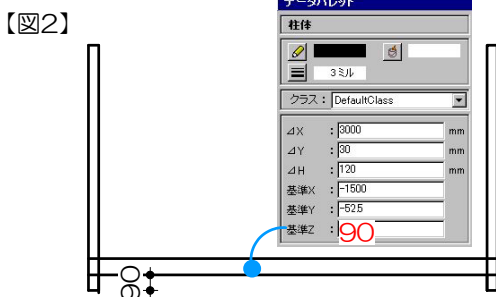
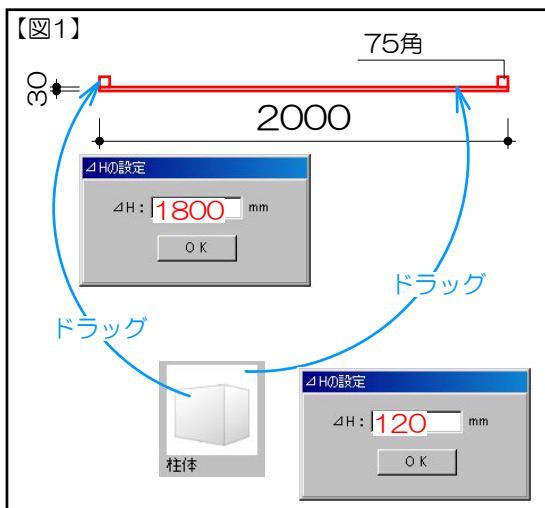
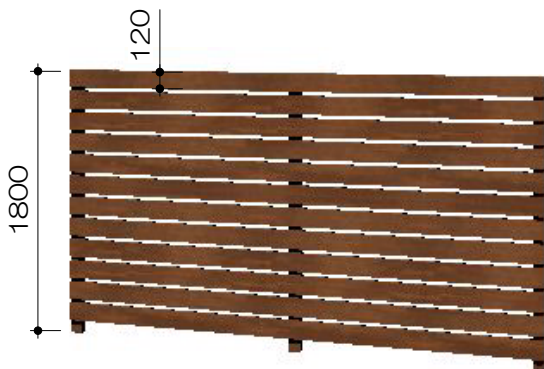
※平面図を作成しないとデータ量が重くなります。

※3Dの変更後2D変更も必要です。連動していません。

◆ eE-Former活用講習<スキルUP>

◇ eE-Formerを使って作成してみよう。

オリジナル横棧木フェンス



作成手順



1) 補助線で【図1】を作成。作成後選択。



2) 加工 → eE-Former起動  
上のアングルに補助線が取り込まれます。

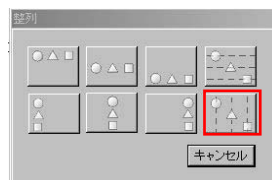


3) 柱体を補助線へドラッグ。  
板：H=120・柱：H=1800  
とHをそれぞれ入力します。

4) ダブルライン多角形で切欠く溝の形状を作成

5) 柱を「編集→複製」して  
横へShiftキーを押しながらずらします。

6) 柱を全て選択して、「加工→整列」  
柱が均等に並びます。

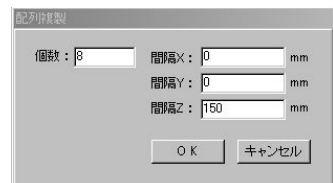


7) アングルを前からに変更します。

8) 板の Z値を90にします。  
地面から90レベルが上がります。【図2】

9) 板を複製して、柱の天端とそろえます。

10) 「編集→配列複製」  
個数=10  
間隔Z=-150



11) 板を全て選択します。  
「加工→整列」  
板が均等に並びます。【図3】



12) 立体を選択して、属性「ウッド2」を  
ドラッグします。



13) 平面図を作成します。  
方法①：3Dを全て選択して、「編集→コピー」  
平面図レイヤに「編集→同位置ペースト」  
データパレットのバケツボタンを押して  
色変更します。  
方法②：平面図レイヤで、「画面→3D図形を表示」  
にチェックをつけます。  
四角形ツールで立体をなぞる。【図4】  
方法③『2Dメニュー』⇒『3D図形から2Dを作成する』  
⇒『3D外形』

※方法①で複雑な図形の場合は方法②で作成します。  
複雑ですと、データ量が重くなります。

※平面図を作成しないとデータ量が重くなります。

※3Dの変更後2D変更も必要です。連動していません。



